

Focus50 快測ナビ使用時に不具合が起きたら

快測ナビは測量機とBluetooth通信で機械を制御しています。
無線通信のため、測量機との距離や遮蔽物によって通信が途切れたり、
現場環境や使用方法によって接続が不安定になったりします。
現場で安定した無線通信を行うために、下記を参考にしてください。

Bluetooth通信の特徴

- ・ Bluetoothは金属や人体など、遮蔽物がある場合に切れやすい。
(例：測量機を背に作業して自分の体が遮蔽物となる場合)
- ・ コントローラーを体に密着させた状態で使用する場合、更に距離が短くなる。

現場で安定した通信を行うための注意点

- ・ 体の横に持って移動するなど、常に測量機とコントローラーのお互いの見通しの良い状態を確保しながら作業する。
- ・ 1日の作業終了時は、コントローラーの内部メモリ解放及び電源OFFにすることにご協力ください。

通信が途中で途切れてしまった場合

- ・ 途中で通信が途切れてしまうと以下のような症状が発生します。
 - ①放射観測をしても測距結果が返ってこない
 - ②どこでもナビ作業中にプリズムが移動してもナビの値が更新されない。
 - ③アプリのフリーズや強制終了などの不具合を起こす。
- ・ 内部的に通信が切れていても追尾は継続されるため、注意してください
- ・ 通信が途中で切れた場合、以下の方法をお試しください。

1 測量機器と端末の通信を切断

- ①ツールバーの「通信設定」をタップ
- ②切断をタップ

コントローラー上では接続してるように見えますが内部的には通信が切れています。



2 測量機器と端末を再接続

- ① 「接続」をタップ
- ② ペア済のデバイスを選択



3 機械設置情報の復元

- ① 「器械設置」をタップ
- ② 「前回の器械設置」をタップ
- ③ 前回の器械点情報の確認
- ④ 「OK」をタップ

